



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 役員会を開催

第4回役員会を3月18日 工業団地管理センターにおいて開催しました。

小川会長は、「報告事項が4件、協議事項が5件あります。役員さんからご意見を伺いながら決定しなければならない案件であることから慎重審議をお願いしたい」と挨拶しました。

報告事項は、賀詞交歓会について、知事との意見交換会で小川会長が説明した立地企業の景況調査結果、会員企業から寄せられた栃木県に対する要望事項と知事からの回答内容です。

各部会の事業実績は、総務企画部会が初級管理者研修やボウリング大会、環境整備部会が優良企業視察（安全衛生部会合同）、クリーン作戦、安全衛生部会が普通救命講習会、危険予知訓練研修会、交通防犯部会が交通安全啓発活動などを実施し、目標を達成できたことを報告しました。合わせて平成27年度収支決算見込額を承認いただきました。

また、役員人事については会長の(株)本田技術研究所四輪 R&D センター 小川審也様、副会長の本田技研工業(株)四輪事業本部 万年博之様、理事のカワダロボティクス(株) 江尻伸様、ホンダエンジニアリング(株) 中山勝美様が異動により退任されることを報告しました。

協議案件の冒頭で小川会長は、「健全で自立した組織運営を図り、これまで以上に会員企業に共通する課題の解決や行政機関との迅速な連携により、会員サービスを向上したいと思っています。そこで次年度からの運営体制を強化するための関係案件をお諮りしたい」と説明しました。

上程した会則の一部改正について、規則並びに諸規程制定について、事務局長の任用については協議の結果、原案どおり全員の賛成で決定しました。

平成28年度の事業計画（案）は各部会とも平成27年度で取組んだ新規事業を継続するとともに、各事業の内容を充実して会員企業の満足度をさらに高める計画であることを説明しました。

また、収支予算（案）についても平成27年度の決算見込額と比較しながら検討いただき、全員の賛成により原案どおり決定しました。



次に、定期総会に上程する議案内容などを検討する役員・正副部会長合同会議を4月22日(金)午後3時30分開催することを決定しました。

また、第27回定期総会は5月18日(水)午後3時30分から開催することを決定しました。



■ 総務企画部会

3月9日に管理センターにおいて第3回総務企画部会を11社11名の参加により開催しました。中山部会長が、「今年度事業は、新入社員研修、若手研修、初級管理者などの研修に27社49名の参加があり、それぞれの研修目的に沿って効果的な研修を実施できました。また、例年のようにゴルフ大会とボウリング大会をそれぞれ2回開催、横浜港クルージング体験とキリンビール横浜工場視察の全体研修は親睦を図り情報交換の機会にもなりました。

また、収支決算は予算額1,000,000円に対して各事業で849,257円の支出額になりました」と平成27年度事業実績と収支決算について説明し承認されました。平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)についても原案どおり決定しました。

役員改選では、部会長に(株)ホンダテクノフォートの中山克夫様、副部会長にエヌケイエンジニアリング(株)の安達賢次様、(株)本田技術研究所四輪R&Dセンターの吉富孝司様が再任されました。

■ 環境整備部会

3月8日管理センターにおいて11社11名の出席により第3回環境整備部会を開催しました。

正木部会長は、「早いもので年度末を迎えました。事業計画どおり1年間の事業を執行できたことは、皆さまのご協力によるものであり感謝申し上げます。次年度も引き続きご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

平成27年度事業実績及び決算報告について正木部会長は、「クリーン作戦を3回実施し、延べ178社620名の参加協力がありました。花壇やプランターへの花植えで環境美化にもご協力いただきました。また、収支決算、資源ごみ売却の収支決算に関しても適正に執行された」と説明し承認されました。

平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)については、これまでの実績を踏まえて内容の充実を図ります。また、不法投棄が集中する場所への監視カメラ設置を調査研究したい」と説明し原案どおり決定しました。

役員改選では、部会長に東洋濾紙(株)の正木尚様、副部会長に山本建設(株)の阿部好次郎様、ジェーピーエス製薬(株)の鎌上章様が再任されました。



■ 安全衛生部会

3月9日に管理センターにおいて第3回安全衛生部会を9社9名の参加により開催しました。稲森部会長は、「本日は御多用な中ご出席をいただき感謝します。昨日開催した第5回普通救命講習会で本年度の事業はすべて終了しました。本日は事業報告及び収支決算、次年度の事業計画（案）及び収支予算（案）、役員改選についてご審議いただきたい」と挨拶しました。



稲森部会長が、「全国安全衛生大会参加費補助金制度を今年度から始め、ホンダ開発(株)様が補助を受けました。12月の事例発表会で大会参加報告がありました。全国安全衛生大会の参加は役立つ情報を入手できるので、補助金を活用いただき、より多くの事業所に参加いただきたい。危険予知訓練研修会は2年目の実施で充実した研修会となったので、次年度もブラッシュアップして実施したい。優良企業視察研修会はキューピー五霞工場を視察研修して、食品メーカーの衛生的な生産現場で多くの気づきを得ることができた」と平成27年度事業実績及び収支決算の説明をして承認されました。また、平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）についても原案どおり決定しました。

役員改選では、部会長にホンダ開発(株)の稲森真樹様、副部会長に協永堂印刷(株)の藤枝裕様が再任され、副部会長の(株)ベストロジ栃木 長嶋俊明様が異動で退任され、後任の副部会長は(株)ショーワの渡邊英祐様に決定しました。

■ 普通救命講習会

安全衛生部会が主催する普通救命講習会を3月8日に10社23名の参加で開催しました。今回も定員を上回る申し込みがありました。会員企業様の安全・安心に対する意識がとても高いことの表れと思います。

講師は真岡消防署芳賀分署の救急救命士3名の皆さまに務めていただきました。110番をしてから救急車が到着するまでの全国平均時間は8分間だそうです。救急救命士が到着するまでに、傷病者に対して1秒でも早く有効な処置ができれば救命率は格段に高まるそうです。

講習会では、救急救命士の手作りDVDを用いて分かり易くご説明いただきました。

応急手当の重要性をご説明いただき、「確実な心肺蘇生法」については訓練用人形を使用してご指導いただきましたので、実践しながら身体で覚えることができたようです。

今年度は5回の講習会で受講者は66社114名となりました。次年度も計画しますので是非とも受講ください。



■ 交通防犯部会

新設された信号機

3月4日 管理センターで第3回交通防犯部会を14社15名の参加により開催しました。

西東部会長は、「交通安全対策で各方面に陳情をして成果を上げた面もある。例えば管理センター前及び芳賀台西の両交差点に右折矢印信号と歩行者用信号機が設置された。加えて(株)ホンダテクノフォート様前交差点に信号機が設置され3月7日(月)から供用開始される。本日は御多用な中ご出席をいただき感謝します」と挨拶しました。



平成27年度事業実績及び収支決算について西東部会長は、「平成27年度事業は予定どおり全て実施できた。予算額60万円に対して57.5万円を執行した。のぼり旗設置の回数を年4回から2回にして、夏と年末はステッカーとエプロンに切り替えた。エプロンはJRバス関東さんに協力いただいている」と説明し承認いただきました。

また、平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)については、のぼり旗の部品更新について提案があり、次年度予算で対応することを決定しました。

役員改選については、西東竜也部会長が異動で退任、副会長の小林厚子様、菊池博幸様も退任することが決まりました。後任の部会長はホンダエンジニアリング(株)の井戸一樹様、副部会長は(有)田野辺運送店の田野邊洋子様、(株)本田技術研究所四輪R&Dセンターの内山啓一様に決定しました。

■ 交通安全対策連絡協議会を開催

3月25日 芳賀町交通安全対策連絡協議会が芳賀町役場において開催されました。

この組織は交通安全対策を総合的に推進するため、町内の関係機関、団体によって組織され、交通事故防止に寄与する活動を実施しています。

会長である見目町長は、「芳賀町では死亡事故が減少していない。なかでも高齢者の事故が多い。しっかり対策をとって行きたい。芳賀型交通事故という、見通しの良い交差点での事故発生が非常に多いことから対策が必要と思っている。町をあげて交通安全対策を推進し交通事故が少なくなるよう努めていきたい。」と挨拶しました。



真岡警察署長は、「昨年は芳賀町で3人が交通事故で死亡している。県内では98人が死亡、全国で4,117人が死亡している。昭和46年の県内の交通事故死亡者数485人と比較すると減少している。その理由は、車両構造の変更、取り締まり強化、安全教育の徹底などによる。芳賀町が安全な町となるよう真岡署としても努力するので、ご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。

真岡警察署交通課長が芳賀町の交通事故発生状況と事故防止について、次のように説明しました。

- 県内の昨年の交通事故死亡者数 98 人のうち 61.2% にあたる 60 人が高齢者であった。
- 真岡署管内で 9 人死亡(前年比 4 人増加)している。芳賀町で死亡している 3 人は出会い頭の交通事故死である。見通しの良い交差点での事故が芳賀町の特徴であり、これは相手の車が止まっているように錯覚する周辺視野特性が原因なので、交差点では首を動かして左右を確認することが大切である。
- 県内では、歩行者が右から左へ横断中に追突で死亡する事故が全体の 70% である。
- 夜間運転の交通事故防止では、ライトを上向きにして歩行者や自転車の早期発見に努めてほしい。時速 60 km 走行の制動距離は 44m であるが、下向き照射距離は 40m なので追突が避けられない危険がある。



芳賀町交通安全対策の推進計画は、目標に「交通死亡事故0（ゼロ）の町」を掲げ、運動の重点は、高齢者の交通事故防止、交通安全思想の普及・啓発、事故発生場所の調査と安全な道路交通環境整備の3点とすることを決定しました。

春の交通安全県民総ぐるみ運動が 4月6日(水) から 4月15日(金) までの10日間実施されます。

芳賀工業団地内で平成 27 年に 9 件の交通事故が発生しています。

No.	期日	時間	内容	車両	発生場所
1	2/2(月)	7:00 台	追突	軽乗用車対普通乗用車	芳賀台南交差点
2	3/20(金)	8:00 台	駐車場内	人对普通乗用車	ホンダ様体育館駐車場
3	7/13(月)	7:00 台	左折時	軽乗用車対自転車	芳賀台西交差点
4	9/1(火)	21:00 台	単独	自転車対物件	オートケニック ヲパノ様前
5	9/23(水)	18:00 台	出会い頭	軽乗用車対普通乗用車	ホンダ様体育館北入口
6	10/13(火)	21:00 台	追突	普通乗用車対軽乗用車	ホンダ様正門入口丁字路
7	10/21(水)	17:00 台	右折時	普通乗用車対自転車	工業団地管理センター前
8	11/11(水)	9:00 台	追突	普通乗用車対普通乗用車	芳賀台西交差点西方
9	11/19(木)	14:00 台	右折時	軽乗用車対普通乗用車	ホンダ開発様南東交差点

■ 国土交通省へ陳情

3月14日 芳工連の富永副会長が栃木県県土整備部長、見目町長とともに国土交通省道路局並びに関東地方整備局へ主要地方道宇都宮向田線大塚工区の整備促進に関する陳情をしてきました。

この事業は、平成18年度秋に地元関係者へ説明があり、次年度から用地買収を開始して順次工事に着手する計画が示されました。

芳賀台北交差点から台の原交差点まで1.6kmは急カーブで狭い危険な道路であることから、バイパスの完成による交通渋滞緩和と交通安全対策の効果が期待されています。

しかし、コンクリート構造物等の工事は先行しましたが、遅々として完成の目途が立っていないことから、毎年の県産業労働観光部長との意見交換会や県県土整備部長への陳情で早期完成を要望してきました。

また、昨年10月には芳賀町主催の「とちぎの道現場検証」において、見目町長が真岡土木事務所長に主要地方道宇都宮向田線大塚工区の現地を案内し整備促進を要望しています。

今回、芳賀町と栃木県に御尽力をいただき国交省へ陳情できましたので、国補助金の増額が決定し工事が早期に完遂できるよう期待したいと思います。



■ 芳工連総会は5月18日に決定

第27回定期総会の開催は5月18日（水）午後3時30分から工業団地管理センターにおいて開催することが決定しました。

会員企業の皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。ご案内の通知は後日送付させていただきます。

芳工連日誌

【3月の実績】

- 4日 交通防犯部会
- 8日 普通救命講習会
- 8日 環境整備部会
- 9日 安全衛生部会、総務企画部会
- 14日 国土交通省陳情
- 18日 役員会
- 23日 資源ごみ回収
- 25日 芳賀町交通安全対策連絡協議会

【4月の予定】

- 4日 交通防犯部のぼり旗設置
- 6日 芳賀町ゴルフ連盟総会
- 8日 交通安全街頭指導
- 11~12日 新入社員基礎研修会
- 18日 交通安全のぼり旗撤去
- 22日 芳工連役員・部会正副会長会議
- 27日 管理センター管理組合総会
- 27日 資源ごみ回収日